記入日　2018 年 6 月 12 日

キング・オブ・コンクリート **2018**

プログラム

１．予選（7 月４日）プログラム

集合時間	９：００
受付・モルタル試験体の確認	９：００～　９：４０
開会式・競技説明	９：５０～１０：００
曲げ強度部門　競技	１０：００～１２：００
昼食（各チームの曲げ強度部門の競技終了後，適宜，お取り下さい）	
クイズ部門　くじ引き・競技説明	１３：００～１３：３０
クイズ部門　競技	１３：３０～１５：３０
結果発表	１５：４５～１６：００
本選説明・くじ引き	１６：００～１６：１５

２．受付

集合時間：９：００

集合場所：神戸ファッションマート　１Ｆアトリウムプラザ

キング・オブ・コンクリートの受付にて，参加者の確認，モルタル試験体（２体）の確認を行う．

受付終了後，スタッフの指示に従い開会式まで着席して待機すること．

なお，モルタル試験体を郵送する場合には，実施要領　9　モルタル試験体の運搬と取り扱いを参照して，必要事項を記入した「モルタル試験体保管依頼書」を６月２５日（月）までにメールにて運営本部宛てへ提出すること．

３．曲げ強度部門

表-1 のエントリーNo.（申し込み順）の順番で競技を行う．各チームの競技時間は５分を予定している．競技が終了したチームから，適宜，昼食を取ること．その他の競技に関する内容は実施要領を参照すること．

４．クイズ部門

クイズ部門は４チーム対戦組を１組，５チーム対戦組を３組とする．

曲げ強度部門の１位のチームをクイズ部門の４チーム対戦組とし，２～４位のチームを５チーム対戦組とする．また，上位４チームには，予めポイントが付与される．上位４チーム以外のチームは昼食後の１３時よりくじ引きを行い，各対戦組が決定される．６ポイント先取したチームを勝ち抜けとし，各対戦組から２チームずつ選出し，計８チームが翌日の本選に出場できる．その他の競技に関する内容は実施要領を参照すること．

表-1　エントリーNo.

エントリーNo.	学校名
１	浅野工学専門学校
２	東北職業能力開発大学校
３	香川高等専門学校
４	芝浦工業大学 A チーム（中村，荒木，水野）
５	熊本大学
６	群馬大学
７	横浜国立大学 A チーム（坂西，島倉，山野井）
８	立命館大学
９	横浜国立大学 B チーム（樋口，福原，三浦）
１０	京都大学
１１	大阪工業大学
１２	東京理科大学
１３	芝浦工業大学 B チーム（佐藤，進藤，後藤）
１４	長岡技術科学大学
１５	名古屋大学
１６	九州大学
１７	東北大学
１８	法政大学
１９	東海大学

５．本選（７月５日）プログラム

集合時間		８：５０
フレッシュモルタル部門	競技説明	９：００～９：１５
フレッシュモルタル部門	基本配合競技１組	９：３０～１０：００
	基本配合競技２組	１０：００～１０：３０
	チャレンジ配合試験練り１組	１０：４５～１１：３０
	チャレンジ配合試験練り２組	１１：４５～１２：３０
昼食（各チームのチャレンジ配合試験練り終了後の時間にて，適宜，お取り下さい）		
	チャレンジ配合競技１組	１３：００～１３：３０
	１組プレゼンテーション	１３：３０～１３：４５
	チャレンジ配合競技２組	１３：４５～１４：１５
	２組プレゼンテーション	１４：１５～１４：３０
キング・オブ・コンクリート閉会式・表彰式		１５：００～１５：３０

６．フレッシュモルタル部門

配合の計算を行うため電卓をご持参下さい．同時に４チームずつ２組に分けて競技を行う．競技を行う組合せとチャレンジ配合で使用する細骨材をくじ引きで決定する．基本配合競技，チャレンジ配合競技は１回のみ（制限時間 30 分）とする．なお，チャレンジ配合の試験練りの制限時間は４５分とし，制限時間内で何回でも試験を実施することができる．また，チャレンジ配合競技で決定した配合について記録用紙に記載すること．競技時間内で記録用紙を会場の書画カメラに置き，配合についてプレゼンテーションを行うこと．その他の競技に関する内容は実施要領を参照すること．

以上

キング・オブ・コンクリート 2018 に関する FAQ

Q.1　曲げ強度部門の試験に使用するモルタル試験体について，結合材はセメント系材料との指定がありますが，混和材料あるいは補強材料等の混入ついては自由なのでしょうか？

A.1　混和材料，短繊維補強材については，使用しても構いませんが，棒状やシート状の補強材は使用できません．

Q.2　曲げ強度部門において，試験体の載荷面は指定されているのでしょうか？

A.2　試験体の打設面を手前から見える面にミハエリスにセットすることにします．

Q.3　フレッシュモルタル部門　試験で使用する器具（リスト以外のもの）や機器（ＰＣ，電卓等）を使用することは可能でしょうか？

A.3　配合計算において，電卓を使用しますので，ご持参下さい．電卓以外の器具を持ち込んで使用することは出来ません．なお，実施要領に記載の器具は大会運営本部で用意致します．

Q.4　本戦の練混ぜにおいて，表乾状態判定用のフローコーンおよび突き棒は使用できますでしょうか？

A.4　競技では，運営本部にて用意するモルタルフロー試験用のフローコーンのみ使用できます．持ち込んだフローコーンや他の試験用のフローコーンは使用できません．

Q.5　フレッシュモルタル部門　各チームの競技時間はどの程度でしょうか？

A.5　基本配合競技，チャレンジ配合競技は１回のみ（制限時間は３０分），チャレンジ配合の試験練りの制限時間は４５分とし，制限時間内で何回でも試験を実施することができます．

Q.6　骨材の性質の基本情報は大会中のいつ頃知らされるのでしょうか？

A.6　本選当日の競技説明時にお伝え致します．

Q.7　骨材の絶乾状態というのは，105℃程度での加熱後，乾燥容器（デシケータ等）にて管理されている状態ということでよろしいでしょうか．

A.7　骨材の含水状態について，105℃程度で 24 時間以上，乾燥した試料ですが，デシケータでは保存しておりません．したがって，厳密な管理は出来ておりませんが，他のチームとも同一の条件を確保し，不公平が無いように努めます．

Q.8　チャレンジ配合において，支給される海砂は除塩したものでしょうか？

A.8　除塩した海砂を支給します．

Q.9　フロー停止の確認及びフロー値の測定･目盛の読みにおいては，各チームの判断で行うのでしょうか？

A.9　試験監督者が測定致します．

Q.10　スランプフローの計測方法について，骨材と水が分離して水分だけが薄く広がった場合、中央の塊の部分と薄く広がった水の部分、どちらを測定値とするのでしょうか？

A.10　材料分離が生じてフローさせたモルタルの先端に水分だけが流動した場合は，その部分は測定せず，その内側のモルタルの先端を測定いたします．なお，過剰に分離し，フロー板をオーバーするほどフローが出た場合などは，競技委員で検討し，「測定不能＝測定結果なし」と判断する場合もあります．